

業務の新聞

第80号 2021年 6月 18日

営業関係施策 1

2021年度営業関係施策(その1)の“説明”を支社勤労課から受けました。「提案個所に組合員がいない」ということでこのような形になりました。その内容は、『駅業務の変革によるチケットレス化を含む ICT の進展による利便性の向上、業務実態の変化、非接触ニーズの高まりを踏まえ、販売体制見直しを行う』『信号の電子連動化に伴う駅機能集約による輸送体制の見直しを行う』というものです。

変革2027推進の中でチケットレス・ICT 化、省力化は避けては通れない内容になっています。駅も大きく変化していくことが容易に想像できると思います、その中で“譲れないモノ”“不可欠なモノ”は何かを取捨選択していかなければなりません。

皆さんの知恵と経験をかしてください。

オリ・パラ 大丈夫?

平和の祭典開幕までいよいよカウントダウンです。聞くところでは運転職場ではオリ・パラ期間中の“運行ダイヤ”が届いているそうです。

“スジ”や“車両”が決まれば何とかなる?!なんてことを考えている方はいないと思います。東京支社では IOC・JIOC・政府の正式決定待ちになっているようです。

私たちは「オリ・パラだから仕方ない」ではなく「オリ・パラだからこそシッカリ」安全・安定輸送を実現する労働条件・労働環境を求めていきます。不安や不満を放置したままでは安全も安定も安心も提供することはできません。

世界的パンデミックの中でオリ・パラを開催しその輸送業務を担うことは並大抵のことではありません。苦労して汗をかいでも報われないというようなことは断じてあってはならないのです。

営業関係施策 2

説明された内容は、以下の通りです。
神田駅-販売体制見直し(出札閉鎖)
内勤・管理体制見直し
浜松町駅-販売体制見直し(営業時間変更)
大森駅-販売体制見直し(出札閉鎖)
内勤・管理体制見直し
尾久駅-輸送体制見直し
IT 化、チケットレス、e チケットなどによって駅販売体制は大きく変化しています。コロナ禍でお客様のご利用状況も上向かないまま施策は進んで行きます。「人でしかできないサービスの提供！」なども大きな課題です気がかりや？をぜひ聞かせてください！

新型コロナウィルス

“バタバタ”していますが全国的にワクチン接種も始まり「良い方向？！」という状況なのだとされています。しかし「変異株に移行」なども連日報じられて不安はますます大きくなっているように感じます。

ワクチン接種に関してエルダーの先輩から「俺たちには“免除”は適応しないのか？」という率直な疑問が寄せられました。会社や上部機関とも相談して最善の方法をとれるようにしたいと思っています。

『ご自愛ください！』飲みに行くのも遊びに行くのももう少し『自粛』をお願いします。

家族と仲間たちの命を守るために！